

With ウィズ★

～私たちが私たちに暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

中川（全市域）・金森（浜脇・西宮浜）・吉岡（安井・今津南）・廣末（上甲子園）・上野（深津・
瓦木）・渡（甲東）・南（甲山・甲武）・角（小松・高須）・春（浜甲子園）・構（塩瀬・山口）

※（ ）内は地域包括支援センター圏域で表記

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり推進課

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

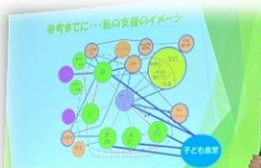
☎(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 ✉ kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター 活動トピックス

広がる！ 市内の子ども食堂ネットワーク

西宮市内の子ども食堂は、現在 30 カ所を超え、広がりを見せています。子ども第三の居場所づくりや、地域の多世代交流、貧困対策など、その目的は運営団体によってさまざまであり、地域の実情や活動者の思いに合わせた取組みが行われています。そうした子ども食堂の活動者が、つながり学び合う機会としてネットワーク会議を開催しました。

武庫川女子大学の半羽利美佳先生に「子どもの権利と子ども食堂」というテーマでご講義いただきました。「地域の中で子ども食堂が子ども達にとってどのような存在になれるか」を立ち止まって考える機会になりました。



“子ども食堂は…”

- ・地域の大人とつながる場
- ・自分を認めてくれる地域の居場所
- ・安心と挑戦の場
- ・子ども達の失敗を保証する場
- ・子どもと大人が育ちあう場



社会状況の変化に伴い、子どもを取り巻く状況も大きく変わってきています。子どもの力を信じ、子どもの権利を守るために、「大人は子どもにどう向き合うか、子ども食堂には何ができるのか」活動者のみなさんと一緒に考えていきたいです。

子ども食堂 実践紹介

心と心をつなぐお弁当

西宮市内では、集まってご飯を食べる活動ではなく、お弁当の提供や宅配をしている子ども食堂もあります。そんな活動の意義や活動者の思いを紹介します。



地域の中には、活動の場に来れない・その場に居続けるのがしんどい子ども達があります。中には生きづらさを一人で抱えこんでいることもあります。そんな子ども達にとって、お弁当のやり取りが活動者と信頼関係を築く機会となり、悩みをぽろっと言ってくれることもあります。学校や相談窓口ではキャッチできない声を拾い、受け止める地域のセーフティーネットの役割を担っています。



活動者の声

食べることは生きること。みんなでご飯食べるのも、お弁当の提供もどちらも大事。
西宮の子ども食堂は“心と心をつなぐ活動であり、子ども達の未来を守る活動”であって欲しいです。

そめどのハッピーキッズ

子どもの居場所

用海地区染殿町では、毎週水曜日に放課後学習会『そめどのハッピーキッズ』が開かれています。

活動が始まったのは約 2 年前。教会に通う有志の方々が中心となり、“安心して過ごせる環境の中で、子どもたちが気軽に集まって宿題をしたり、仲間と遊んだり、新しいことにチャレンジできる場をつくりたい。”との思いで活動をスタートしました。

青少年愛護協議会や小学校、地元自治会など、地域のご理解・ご協力もあり、毎回15名程度の子どもたちが居場所に参加。ボランティアの見守りの下、のびのびと放課後時間を過ごしています。子どもたちが安心して過ごせる場所がこうして地域の力で、生まれています。

開催日時：毎週水曜日 15:00～18:00

開催場所：ニューコミュニティ西宮チャペル

対 象：小学生（登録制）



ろばのいえ

学校に行きづらい
子どもたちの居場所

上甲子園地区にある労協センター事業団西宮事業所では、育成センターの運営や居場所づくりをする中で、学校や大人数の場では馴染めない子ども達がいることに気がつきました。そんな子ども達がありのままでもゆったり過ごせる居場所が必要だと感じたことから、学校に行きづらい子どもや保護者、地域の方の居場所『ろばのいえ』はスタートしました。

近くの畑（ろばのはたけ）や鷲林寺の貸農園で採れたものを使って、そこに訪れる地域の方と一緒におやつ作りや草木染めをしたりと多世代の交流も大切にしています。他にも上甲子園地区社会福祉協議会と共催しているお茶会に子ども達がお手伝いとして参加するなど地域での役割が生まれています。



開催日時：毎週水曜日 13:00～17:00

毎週木曜日 10:00～12:00

開催場所：ろばのいえ

対象：基本西宮市内の小学生～高校生

CoCoCara

外国にルーツのある
子どもたちの学習支援

高須地区の CoCoCara(ここから)は 2018 年 4 月より、高須地域にお住まいの外国にルーツを持つ子どもたちに日本語および教育学習を軸に、地域に暮らす住民同士が文化や国籍の違いを生かし、認め合い・支え合う社会づくりに取り組んでいます。放課後、多文化教室に子どもたちが集まり、地域のボランティアスタッフに宿題を見てもらったり、学校のプリントを読んでもらったりしていました。宿題が終わった子どもたちは教室の中にある世界中のおもちゃで遊んだり、母国の言葉を教え合うなどの交流をする姿もありました。

開催日時：木曜日 14:45～16:30(学校行事に則る)

開催場所：高須西小学校(多文化教室)

対 象：原則、高須西小学校に通う児童

